

令和3年6月 定例記者会見(報告)

1 日 時 令和3年6月28日(月)13時～14時

2 会 場 庁議室

3 出席者

<報道機関>朝日新聞、山形新聞、米澤新聞、読売新聞、河北新報、
SAY、YBC、YTS

<市>市長、秘書広報課長

4 記者倶楽部からの質問事項

(1) 新庁舎での執務開始後、約2カ月が経過しますが、市民と職員からどのような声があがっていますか。

(2) その他

5 内 容

○秘書広報課長

これより令和3年度6月の定例記者会見を開催させていただきます。初めに市長から発言がございます。

○市長

それでは、6月の定例記者会見のご質問ですが「新庁舎での執務開始後、約2カ月が経過しますが、市民と職員からどのような声があがっていますか」というご質問でありました。例えば「新しい庁舎になり、大変綺麗で明るい」とのお褒めの声もございました。

また「バリアフリーで車椅子やシルバーカーが使いやすい」「階段が広く緩やかで上りやすい」という声もございました。

また、私個人にも市民の皆様から声があり「来庁したとき担当者から丁寧に案内してもらった」という声も直接お伺いをしました。

要望事項は、今まで山形銀行の出張所があったわけですが「銀行がなくなり不便になった」という声もございました。

食堂もなくなったわけではありますが「食堂を続けて欲しかった」という声もいただきました。

また「案内図が小さく見づらい」という声もありました。

ほかに、これから取り付けを予定しておりますが「時計がなく時間がわからない」という声もいただきました。これにつきましては、早急に整備をしていく予定です。

また、職員からの意見では「他課とスムーズな連携をとることができて良い」という声が全体として多かったようでありす。

そのほかにも細かいところでは、例えば執務環境として「身の回りの収納スペースが欲しい」「ごみ箱の場所や数を増やしてもらいたい」という声もありました。これはすでに解決をさせていただきました。

また、通路や階段につきましては「通路に扉が多い、常時開放して欲しい」という声もあったようでありす。

トイレ、更衣室におきましては「便座の除菌クリーナーの設置」「更衣室への掃除用具設置」「更衣室の洗面台への鏡の設置」などの要望があったようす。

また「総合案内・市民ホールなどへの時計の設置」「ポスターなどを掲示するスペースが少ない」という声もありました。「窓口カウンターの椅子がもっと必要ではないか」という声もありました。

そして、今はまだコロナ禍でありますから「手指消毒用アルコールの設置や増設の要望」がありました。「相談室へのアクリル盤の設置」や「休憩コーナーや給湯室への手洗い石鹸の設置」などの要望もありました。今申しあげましたこの新型コロナ対策については、すでに対応させていただきました。

そのほか「エレベーターや窓口までの案内・サインが小さい、案内番号のサインが見えにくい」「夜間出入り口付近の照明灯設置」などの要望も、職員からは上がりました。

このようなものが市民、職員からの要望、評価でした。先ほど申しあげましたように、銀行や食堂がなくなったわけですが、それを除くと、福王寺一彦先生の絵画も素晴らしいなど、全般的には良い評価をいただいているのではないかと考えております。

今後、改善点はしっかりと改善しながら、さらに市民の皆様の利便性確保や、親しみやすい市役所づくりに取り組んでまいりたいと思ひます。

○秘書広報課長

市長からの発言は以上となります。これ以降の進行につきましては、幹事社にお渡しします。よろしくお願ひいたします。

○記者

今の庁舎について、各階に扉があり、すごく固い感じになったということをお耳にしました。あの扉を外すわけにはいかないとお思ひますが、開けておくことはできないでしょうか。

○市長

先ほど申しあげましたように、職員からはそういう声も上がっております。調整会議の中で検討することになっておひます。

○記者

コンパクトな庁舎になったとお思ひのですが、職員の方から狭いなどそういう声はありますか。

○市長

コンパクトになったからこそ、身の周りのものに対する要望もあったのかとておひます。そういった面では、まだ慣れるまで、機能的なコンパクトな建物ということに対して、

身の回りなど改善をしていく余地はあるのではないかと考えています。

○記者

喫煙所が屋上になったわけですが、新庁舎になるタイミングに合わせて、職員に対する禁煙の指導のようなことはありましたか。

○市長

基本的には、敷地内は禁煙です。ただ、すべて禁煙とするわけにもいきませんから、屋上を利用して喫煙所を設けました。

○記者

健康面で、特に議員の方は結構吸われると思うのですが、米沢市として禁煙に力を入れたりなどはないでしょうか。

○市長

議会からは、禁煙という声もいただいております。健康にはいろいろな角度から気をつけていただきたいわけですが、これ以上のことは個々の皆さんの判断にお任せするほかないのではないかと考えています。

○記者

市長の任期があと2年ありますが、後継ぎや継続のお考えはありますか。

○市長

まず、就任早々、市長の任期は2期8年と条例も定めさせていただきました。それが変わることはありません。ただ、今の段階で後継者など、そういった意思を持って私のところに来ている方は誰もいません。

今後の推移を見ながら、どうするか対応していきたいと思います。

○記者

いつごろ、市長自ら推薦などする予定ですか。

○市長

後任については、私が推薦する、しないは別にしても、まだそういう声は出ておりませんから、そういった声が出てきた段階で、対応していきたいと思います。今は全く白紙の状況です。

○記者

先日、県議会で若松前副知事の件が質問に上がったと思いますが、各関係者の方にお伺いすると、10月ぐらいから電話が来ていたというところもあります。市長にはそういった電話はありましたか。

○市長

はい。知事選を控えて、米沢市の課題などについては話をしました。

○記者

直接庁舎にいらっしゃる場合もあったと思うのですが、いかがでしょうか。

○市長

正直に申し上げまして、そういう機会もありました。

○記者

その中ではどういったお話をされましたか。

○市長

今申し上げましたように、知事選を控えて、それぞれの市町村の声を拾い上げるという趣旨だと私は理解しておりましたので、その程度の話はさせていただきました。

○記者

一部報道で、若松前副知事が任意聴取されたということですが、そういったお話というのは市長ご自身の耳にするようなことは今までありましたか。

○市長

いえ、私もマスコミの報道で初めて、聴取を受けたと知りました。

○記者

各市町村にお伺いすると、今までよりも県との距離感が遠くなってしまった。意見を聞いてくれないから、直接知事にお伺いすることも難しい、との声もありますが、そういった距離を感じることはありますか。

○市長

正直に申し上げまして、私は感じていません。

おかげさまで、県議会議員だったということもありまして、今の県職員や、各部長との関わりが以前からあったため、市の対応については要望しています。確かに、知事選挙があってから、懇談のお願いなどそういうものはありませんが、不便だと感じるようなところは今のところございません。

○記者

現在、副知事不在という中で、米沢市長として今の体制についてどのような考えをお持ちでしょうか。また、今後の展望として、どのようになっていって欲しいですか。

○市長

副知事が空いていて補佐する人がいなく、県政運営を知事1人では大変だろうと思います。知事の仕事量とは比較にならないと思いますが、私自身も副市長がいることで助かっている部分があるわけです。首長が職務を遂行できなくなる場合もありますから、補佐する、代理する人がいないと、市政も県政も回っていかないのではないかと思います。

人事案件ですから、議会との調整が何よりも重要だと思っています。そこはお互いに努力をしながら、早く副知事を選任していただければと、市長としてそのような思いを持っております。

○記者

市長の言葉でもう1度聞きます。先ほど、前副知事の聴取はマスコミの報道で知ったということでした。特定の候補を応援するような呼びかけが前副知事からあったという報道ですが、市長ご自身にそういった声かけはなかったという認識でよろしいですか。

○市長

私にはありませんでした。

○記者

若松前副知事の件に関して、ほかの首長の方々が警察から聴取を受けたという話もあります。市長がそういった聴取を受けた、あるいは警察からそういった連絡があったなど、その辺りはいかがでしょうか。

○市長

聴取という言葉は、私には当てはまらないと思っております。電話などそういったものがあったかという質問はありましたから、それはありました、というお答えをしました。

○記者

本日、新病院の起工式がありました。新病院に向けて改めて市長の決意をお聞かせください。

○市長

ご挨拶の中でも申し上げましたが、これからの医療の充実をどう図っていくか。そして、老朽化してきている市立病院をどのように建て直すか、という使命を持って今日まで来ておりました。厳しい人口減少、そして、財源をどのように確保していくかということ考えた場合に、ちょうど三友堂病院も建て替えという話も聞こえてきておりました。仁科理事長に、お互いに連携して、新しい連携病院の建設ができないかというお話を私からさせていただきました。

三友堂病院も法人を持っている病院ですから、一本化になるということの厳しさは感じていました。それぞれ経営を別にしながら、医療の充実を図っていきましようという中で、連携病院としての合意をいたしました。その後、山形大学の検討委員会座長の香山先生にお願いして、今日まで取りまとめをしていただきました。

まだまだ細かいところで課題はあると思っておりますが、いよいよ建設が始まるという、今日は起工式でありましたから、私としては大変うれしく思っております。

全国でもモデルになる、民間との医療連携病院になります。今後とも、国のご支援もいただきながら、米沢モデルとしてほかの地域にも波及していくような病院建設に取り組んでまいりたいと考えております。

○記者

仁科理事長も、様々な課題がまだあるとおっしゃっていました。市長もそうおっしゃいました。現時点で、今後の課題としては、どのようなものが一番大きいと考えていますか。

○市長

一つは機能分担です。急性期あるいは回復慢性期、リハビリという機能分担をしましたが、今までは患者さんがそれぞれの病院にお通いになっていたということもありますから、先生の手配などはこれから詰めていく必要があると思っております。その辺りがうまくいくように、課題に取り組んでいかなければならないと思います。

また、これは現場同士の話し合いになるかと思いますが、市立病院、そして三友堂病院の医師の先生方あるいは看護師たちが働く環境、例えば職階の問題などがあると思っております。今はどうなっているか分かりませんが、そういう課題もあると以前には聞いておりました。その辺りも今後詰めていく必要があると思っております。

○記者

国の支援を、なかなか例がない中で、さらなる支援を期待したいということは先日おっしゃっていましたが、市長としてはどういうものを支援して欲しい、どういう形で支援して欲しいと要望されていますか。

○市長

国、厚労省としては、今はベッド数を削減しようという動きがあって、統合する病院がすでに幾つかあると、そのような方向性が発表されました。そういった中で、国では、公立と公立の病院の連携には手厚い支援をするという方向性が出ております。民間病院と公立病院の医療連携については、そういったことが考えられなかったのか、それとも公立と民間も統合するように、とまでは言えなかったのか分かりませんが、機能分担で形態は二つでも、実際の病院機能は一本だと私は思っております。

米沢方式が初めてですから、国でもまだそういった事例がないのは当たり前だと思います。公立と民間にも、公立と公立の医療連携と同様な形で支援をして欲しいと思っております。こういったことが、私は大きな課題だと思います。

ベッド数をどのように減らしていくか、機能的な病院運営をどうしていくかという国の方針としては、これをぜひ米沢モデルとして考えていただきたい。機能面においても地方の病院連携がより進むように、公立と公立の病院連携と同等の支援をお願いしたいということが、この前も申し上げた内容であります。

○記者

三友堂病院にも先ほど質問したのですが、病院の跡地の利用問題についてです。かなり面積があって、以前に議会一般質問で話題になったこともあります。市としては、解体などについて何らかの支援をしなければいけないのではないかと思います。いかがでしょうか。

○市長

まず、新しく建てる部分については支援の方向性は出しています。ただ、解体するかという話、その跡地をどう利用するかという話は全く聞いておりません。支援できる、できない部分も当然あると思いますから、どのような考えが三友堂から出てくるのかを待って、その段階で検討すべきかと思っております。

○記者

今月初めに、市内企業が中心市街地のホテルを秋で閉館するという発表をしております。同業他社が買い取れば、継続してホテル業として、という話にもなっていますが、それが厳しければ解体も含めて、というのが当時の会見でした。市としての受けとめ及び、同業他社がもし買い取れない場合は、跡地に関してどうするかという考えは何か出ていますか。

○市長

その発表をした後に、代表の方から直接ご連絡をいただきました。その時に話をして、できれば建物を誰か代わる方に引き継いでもらいたい、とのことでした。

米沢からホテルがなくなることは、都市機能としても非常にマイナスだというお話をさ

せていただきました。

そして、宿泊機能だけでなく、宴会機能などもありますから、あの規模のものだと代わるところがなかなかないというお話もしました。例えば、代替していただける業者があるのか、ないのか。米沢市としても、引き継ぎにご協力いただくところがあれば、ぜひお話をさせていただきたい。

そして、所管するのは産業部になりますから、何かあったら産業部と連絡を取って欲しい、という話を代表の方にさせていただきました。

○記者

前回の定例会見の時はコロナが大変な時期で、置賜でもコロナが広がっていたという時期でした。

今、大分落ち着いていますが、当時の対応が功を奏したと捉えているのか、コロナ対策というのは、その後どのようにになっているのかというのをお聞かせいただきたいです。

○市長

福島県のコロナ対策は、詳しくは承知しておりませんが、県内においても一時期クラスターが発生して、その中で置賜がメインになった時も5月にはありました。

米沢市においても、感染が予想されるところには訪問して、感染対策をしっかり取って欲しいという要望も、申し上げました。

置賜全体としても、置賜総合病院も感染者が増え、ベッド数など窮屈になってきているという報道もありましたから、感染予防により力を入れてくださいと、市民の皆様をお願いをしました。また、ちょうどワクチン接種も始まったころでもありましたから、1人でも多くの皆さんに接種をしていただきたいという願いもしました。

そういったことで、市民の皆さん1人1人の、1日も早く収束させたいという思いが、今の状況をつくり出しているのではないかと考えております。

○記者

市長自身もワクチンを打たれまして、当日も取材をさせていただきましたが、接種会場も増えた、接種年代も引き下がっているということで、順調と見てよろしいですか。

○市長

おかげさまで順調に推移していると思います。

ただ心配しているのが、職域接種などで、ワクチン供給が滞ってくるのではないかと心配です。今朝の庁議で、ワクチンは予定した通りに確保できるのかという話をしました。

特に今、山形市が大変なようでありまして、人口規模の大きいところは、ワクチンの供給をどのように確保するかが大きな課題なのではないかと考えております。

中規模の米沢市ではありますが、ワクチン接種は関係者の皆様のご努力によって、順調にきていると思っています。

○秘書広報課長

それでは、これをもちまして令和3年度6月の定例記者会見を終了させていただきます。